社会科(歴史的分野)　評価計画

内容のまとまり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章　歴史へのとびら 1節　歴史をとらえる見方・考え方 2節　身近な地域の歴史	日標 ・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させる。	日標 ・歴史から歴史に関わる疑問を調べたり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。	日標 ・自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、歴史を地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。
	評価規準 ・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。また、資料から歴史に関わる情報を調べたり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	評価規準 ・疑問や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や遺跡等を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	評価規準 ○自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、歴史を地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	評価方法 ・授業の様子　・ノート　・ワーク　・ワークシート　・小テスト　・定期考査	評価方法 ・授業の様子　・ワークシート　・定期考査　・作品	評価方法 ・授業の様子　・課題の取組　・ワークシート　・提出物の状況 ・定期考査
第2章　古代までの日本 1節　世界の古代文明と宗教のおこり 2節　日本列島の誕生と大陸との交流 3節　古代国家の歩みと東アジア世界	日標 世界の古代文明や宗教がおこりを通じ、世界の各地で文明が築かれたことや、日本列島における諸国がこれらと東方の文化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一の様子と東アジアとの関わりなどを通じ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。	日標 古代文明や宗教がおこった場所や時代、農耕のことなどや高度技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化のなどなどに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。
	評価規準 ○世界の古代文明や宗教のおこりを通じ、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 ○日本列島における諸国がこれらと東方の文化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを通じ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 ○律令国家の確立に伴うまずの政権、摂関政治などを通じ、東アジアの文明や朝貢や冊封を機軸に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 ○仏教の伝来とその影響、宗名文学の成立などを通じ、国際的な要素をもった文化が来え、それらを基盤としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	評価規準 ○古代文明や宗教がおこった場所や時代、農耕のことなどや高度技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化のなどに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ○古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	評価規準 ○古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	評価方法 ・授業の様子　・ノート　・ワーク　・ワークシート　・小テスト　・定期考査	評価方法 ・授業の様子　・ワークシート　・定期考査　・作品	評価方法 ・授業の様子　・課題の取組　・ワークシート　・提出物の状況 ・定期考査
内容のまとまり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第3章　中世の日本 1節　武士の政権の成立 2節　ユーラシアの動きと武士の政治の展開	日標 ・律令国家の成立、元冠（モンゴル帝国の襲来）などを通じ、武士が台頭して武士の統治が行きその方を背景とした武家政権が成立し、その支配がこれまったこと、元冠がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。 ・鎌倉幕府の成立、元冠（モンゴル帝国の襲来）などを通じ、武士が台頭して武士の統治が行きその方を背景とした武家政権が成立し、その支配がこれまったこと、元冠がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。 ・鎌倉幕府の滅亡と建武政治、南北朝動乱、室町幕府、荘園や国際的な役割などを通じ、武家政治の展開とともに、東アジア世界との関係を関わり深ったことを理解している。 ・鎌倉幕府の滅亡と建武政治、南北朝動乱、室町幕府、荘園や国際的な役割などを通じ、武家政治の展開とともに、東アジア世界との関係を関わり深ったことを理解している。 ・鎌倉文化や鎌倉新仏教などの成立、応仁の乱後の社会的な変動などを通じ、民衆の成長を背景とした社会や文化が様変わりしたことを理解している。	日標 ・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。	日標 ・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。
	評価規準 ○鎌倉幕府の成立、元冠（モンゴル帝国の襲来）などを通じ、武士が台頭して武士の統治が行きその方を背景とした武家政権が成立し、その支配がこれまったこと、元冠がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ○南北朝の争乱と室町幕府、応仁の乱、荘園や国際的な役割などを通じ、武家政治の展開とともに、東アジア世界との関係を関わり深ったことを理解している。 ○鎌倉文化や鎌倉新仏教、室町文化などの成立や、鎌倉時代における社会的な役割などを通じ、民衆の成長を背景とした社会や文化が様変わりしたことを理解している。	評価規準 ○武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察している。	評価規準 ○中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	評価方法 ・授業の様子　・ノート　・ワーク　・ワークシート　・小テスト　・定期考査	評価方法 ・授業の様子　・ワークシート　・定期考査　・作品	評価方法 ・授業の様子　・課題の取組　・ワークシート　・提出物の状況　・定期考査
第4章　近世の日本 1節　ヨーロッパ人との出会いと全国統一 2節　江戸幕府の成立と対外政策 3節　産業の発達と幕府政治の動き	日標 ・ヨーロッパ人来航が背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその治時の対策、近世の都市などの体系的な構築などを通じ、近世社会の基礎がつくられたことを理解させる。 ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の編成、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを通じ、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。 ・産業や交通の発達、教育や農加と文化のどがなどを通じ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化がまれたことを理解している。 ・三代の将軍や幕末期の様変、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通じ、幕府の政治が変遷に対多様まりをみせたことを理解している。	日標 ・交通のどがとその影響、統一政権の国政策の目的、産業の発達と文化の新・手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと第一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察している。	日標 ・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。
	評価規準 ○ヨーロッパ人来航が背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその治時の対策、近世の都市などの体系的な構築などを通じ、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。 ○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の編成、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを通じ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ○産業や交通の発達、教育や農加と文化のどがなどを通じ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化がまれたことを理解している。 ○三代の将軍や幕末期の様変、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通じ、幕府の政治が変遷に対多様まりをみせたことを理解している。	評価規準 ○交通のどがとその影響、統一政権の国政策の目的、産業の発達と文化の新・手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと第一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察している。	評価規準 ○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	評価方法 ・授業の様子　・ノート　・ワーク　・ワークシート　・小テスト　・定期考査	評価方法 ・授業の様子　・ワークシート　・定期考査　・作品	評価方法 ・授業の様子　・課題の取組　・ワークシート　・提出物の状況　・定期考査
内容のまとまり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第5章　開国と近代日本の歩み 1節　欧米における近代化の進展 2節　欧米の進出と日本の開国 3節　明治維新 4節　日清・日露戦争と近代産業	日標 ・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを通じ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ・開国とその影響、幕末政治・諸藩異神状況、文明開化の風潮などを通じ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通じ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。 ・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通じ、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。	日標 ・工業化の進展と政治や社会の変化、幕府政府の崩壊原因の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・近代(明治)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。	日標 ・近代(明治)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。
	評価規準 ○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを通じ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ○開国とその影響、幕末政治・諸藩異神状況、文明開化の風潮などを通じ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ○自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通じ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ○我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通じ、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	評価規準 ○工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の崩壊原因の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(明治)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	評価規準 ○近代(明治)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	評価方法 ・授業の様子　・ノート　・ワーク　・ワークシート　・小テスト　・定期考査	評価方法 ・授業の様子　・ワークシート　・定期考査　・作品	評価方法 ・授業の様子　・課題の取組　・ワークシート　・提出物の状況 ・定期考査
第6章　二度の世界大戦と日本 1節　第一次世界大戦と日本 2節　大正デモクラシーの時代 3節　世界恐慌と日本の中国侵略 4節　第二次世界大戦と日本	日標 ・第一次世界大戦が背景とその影響、民族運動が高まりと国際協調の動き、我が国の関係の対応が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 ・経済や世界恐慌と社会問題が発生、昭和期から第二次世界大戦が経緯までの政党国の変遷、外・内交の動き、中国とアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを通じ、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に影響を及ぼしたことを理解させる。	日標 ・経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関係などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への影響について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・近代(昭和)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。	日標 ・近代(昭和)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。
	評価規準 ○第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の関係の対応が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ○経済や世界恐慌と社会問題が発生、昭和期から第二次世界大戦が経緯までの政党国の変遷、外・内交の動き、中国とアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを通じ、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に影響を及ぼしたことを理解している。	評価規準 ○経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関係などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への影響について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(昭和)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	評価規準 ○近代(昭和)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	評価方法 ・授業の様子　・ノート　・ワーク　・ワークシート　・小テスト　・定期考査	評価方法 ・授業の様子　・ワークシート　・定期考査　・作品	評価方法 ・授業の様子　・課題の取組　・ワークシート　・提出物の状況 ・定期考査
内容のまとまり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第7章　現代の日本と私たち 1節　戦後日本の出発 2節　冷戦と日本の発展 3節　新たな時代の日本と世界	日標 ・冷戦、私が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ・高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを通に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。	日標 ・諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化と冷戦下の国際社会、日本の経済の発展とグローバル化や世界について、現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。	日標 ・現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 ・これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。
	評価規準 ○冷戦、私が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ○高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを通に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。	評価規準 ○諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化と冷戦下の国際社会、日本の経済の発展とグローバル化や世界について、現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察している。 ○これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	評価規準 ○現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	評価方法 ・授業の様子　・ノート　・ワーク　・ワークシート　・小テスト　・定期考査	評価方法 ・授業の様子　・ワークシート　・定期考査　・作品	評価方法 ・授業の様子　・課題の取組　・ワークシート　・提出物の状況 ・定期考査